武武岡線常盤トンネル　安全祈願祭

工期内の竣工を祈る

延長392㍍、幅員14㍍

南生建設㈱・㈱新留土木・鮎川建設㈱特定建設工事共同企業体主催の武武岡線常盤トンネル（仮称）本体工事の安全祈願祭は23日、鹿児島市武の現地で行い、関係者約70人が出席して工事の無事故無災害と工期内の施設竣工を祈念した。

神事では、地鎮之儀で赤崎義則鹿児島市長が刈り初めの儀、上門秀彦同市議会建設委員長が鍬入れの儀、川畑俊彦南生建設㈱社長、新留司㈱新留土木社長、鮎川利郎鮎川建設㈱社長が杭打ちの儀をそれぞれ力強く行った。また、赤崎市長、上門委員長、富田洵鹿児島労働基準監督署長、田原重孝武町内会長、施工者らが神前に玉串を捧げ、工事の無事完成を祈った。

神事後、赤崎市長が「工事期間内の無事故無災害を願う」と言葉を寄せて神酒拝載。また、施工者を代表して川畑社長が「県内でも難易度の高い施工になるが、経験と技術力を駆使して安全第一に施工して参りたい」と挨拶して終了した。

暦で大暑に当たるこの日は、テント内ということもあり蒸し暑さが増し厳しい中での式典であったが、

もと、式場にはススキやユリの花が供えられ、暑さを和らげるかのように穂が揺れ、ユリの香りが広がっていた。

同トンネルの建設地は、鹿児島市武2丁目。都市計画道路武武岡線Ⅰ期事業の武岡1丁目の武岡ピュアタウンまでの延長約1200㍍のうち、延長392㍍、幅

3・5m×2）を占め、N

ATM工法（上半CD工法、

測量設計及び地質調査は㈱

協和コンサルタンツが担当。

億3450万円で、14年9

月30日末の完成を目指す。

武武岡線常盤トンネル（仮称）本体工事完成予想図（上）と杭打ちの儀を行う関係者ら＝鹿児島市武の現地で

点検を前に打ち合わせを行う労務委員ら＝鹿児島市の星ケ峯団地で

県建築協会抜打ちパト

足場点検や劇物管理

第3者への安全対策等入念に

県建築協会（内村實会長）は23日、鹿児島市内の会員現場を対象に抜き打ちパトロールを実施、現場事務所を含め作業現場の足場などの点検を行った。

同日は、内村会長をはじめ、山下理労務委員長ら労務委員11人が参加。パト前には建築会館に集合、事前に巡回予定先に選定していた会員現場11カ所の中から、内村会長自らが無作為に2現場を抽出。県営住宅住戸改善（星ケ峯団地5号棟）及び同（3号棟）に決め、現場パトに出発した。

現場では、事務所班と現場班の2つに分かれ点検を開始。事務所内の整理整頓状況や諸必要書類の有無、救急道具などの常備状況などをチェック。作業現場では、足場の整理整頓から劇物の管理状況、第3者への安全対策など、隅々に至る所まで入念な点検を行い、危険個所についてはすぐさま改善を求めた。

また、今回のパト実施先では他の棟も同様に住戸改善工事が進められており、パト終了後には、全ての現場責任者ら8人を建築会館に招き、パトの反省会を実施した。

パトを終え、山下委員長は「本日、反省会のみ出席した他の現場責任者も他社の良い点、悪い点を参考にして、更にお互いに切磋琢磨して頂きたい」と述べると共に、次回、8月中にも学校施設の会員現場で抜き打ちパトを実施したいと話した。

マングローブパーク完成

奄美南部の振興拠点に

住用村で記念式典　アユ観察センター等整備

完成を祝いテープカットを行う関係者ら＝住用村のマングローブパーク前で

大島郡住用村が石原地区に1997年度から整備を進めてきた「黒潮の森 マングローブパーク」がこのほど完成した。18日、現地で関係者らが出席して、式典と祝賀会があった。式典では、寿元彦住用村長、房永満亘住用村建友会会長ら代表者によるテープカットが行われたほか、全員で園内の各施設を見学した。

式典で挨拶した寿村長は「新和瀬バイパスとともに南部地域振興の拠点になるものと期待している」と述べ、須賀龍郎県知事（代読・竹内攻商工観光労働部次長）も同パークのオープンによる地域発展に期待を寄せた。

完成したマングローブパークは、住用村が奄振事業など総事業費17億5000万円をかけて同村石原地区に整備を進めてきた自然回帰型の観光拠点施設で、敷地面積は8㌶。園内にはマングローブ館のほか、展望台まで続くモノレール、カヌー乗り場、アユ観察センターなどを整備している。竹山・平良・丸八特定建設工事共同企業体が手掛けたメーン施設のマングローブ館は、三面マルチスクリーンや大型ジオラマ水槽を備え、村内や奄美群島に生息する貴重な動植物も展示している。

裕成興業旗杯少年サッカー大会

川上少年団が連覇

48チーム　家族の声援受け熱戦

㈱裕成興業（佐藤裕利社長）は21、22日の両日、鹿児島市の吉野公園など5会場8コートで第7回吉野公園杯並びに同社旗杯争奪少年サッカー大会を開き、川上サッカースポーツ少年団が見事に2連覇を成し遂げた。

ボールを追いかけはつらつプレーを展開する選手ら＝鹿児島市の吉野公園で

開会式では、昨年優勝した川上サッカースポーツ少年団のキャプテン、岩下雄太郎くんが優勝旗を返還。佐藤社長が「いよいよ来年、ワールドカップが韓国・日本で開催されます。楽しみにされている方も多いと思います。今日はけがのないように失敗を恐れず、ボールにいっぱい触って下さい。最後まで頑張って」と挨拶。また、角園五雄吉野公園管理事務所長も「日頃の練習の成果を十分発揮し、正々堂々プレーしてほしい」と呼びかけた。

大会には、鹿児島市や国分市、川内市、遠くは西之表市、宮崎県等から48チームが出場。2日間とも好天候の中、選手は家族の声援を受け、ボールを追いかけていた。

成績は次の通り。

優勝＝川上サッカースポーツ少年団▽準優勝＝武岡グレムリン▽第3位＝隈之城サッカースポーツ少年団飛松FC▽2位リーグ優勝＝平佐西サッカースポーツ少年団▽3位リーグ同＝妙円寺サッカースポーツ少年団▽4位リーグ同＝盈進サッカースポーツ少年団▽5位リーグ同＝鹿児島ドラゴンFC▽6位リーグ同＝八幡サッカースポーツ少年団

ていぶれいく

地元めぐりを満喫

牛牧 雄一さん

建築畑一筋、36年。何事も「徹底して追究する」性格からストレスを感じることなく、余暇も充実した日々を過ごしています。

昭和41年に鹿児島工業高校を卒業以来、鹿児島の地を離れ、大阪、仙台、北海道、名古屋と、全国各地の現場を転々とする中も、行く先々で地元地図を買い揃えては、愛用の日本地図を片手に幼きころ授業で学んだ名所をじっくり散策。静岡の現

ひの親方と意気投合し、山菜や自然薯（じねんじょ）、竹の子取りに明け暮れるなど、地元の魅力に引き寄せられています。

その中、初めて地元鹿児島に配属。すでに屋久島、種子島、霧島、笠沙などの地を訪れ、趣味の地元めぐりを進んでいる中、今後は、甑島あたりで釣りを楽しみながら、自前の魚で函館名物〝沖づけ〟を作ろうかと今から楽しみにしているところです。

（㈱鴻池組）

UM UMEHIKO
信頼のブランド
UM
■梅彦の建材・建築用機械工具
●タイル・大理石用接着剤
UMボンドフィラー、樹脂モル
●モルタル接着増強剤
モルダインMD-3000
●ウレタン塗膜防水剤
ウレタック、シンプルカラー
■UM天然石材
■梅彦の壁材料
「Gライト」使用
超軽量砂壁［三層］
（GLハイブリッドシリーズ）
R・サンド
華翔
内装用仕上材
エコマーク商品に認定されました
●砂壁 R-サンド ●わら聚楽
●UMけいそう土シリーズ
珪藻土・Gライト配合仕上材（中性タイプ）
ボードに一発仕上げができる
進化形けいそう土
けいそうパワー
エコスペース
株式会社 梅彦
本社 〒530-0015 大阪市北区中崎西3丁目1-2
TEL：06-6377-3500 FAX：06-6377-3501
株式会社 財部建材店
本社 〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目8-14
TEL：099-251-8628 FAX：099-251-8631